令和３年度全国学力・学習状況調査の結果と今後の取組について

廿日市市立佐方小学校

１　教科に関する調査　調査結果

（１）学習指導要領の内容から

国語・算数とも平均正答率が，県平均・全国平均を上回っていますが，領域別に見ると，国語では，「書くこと」の領域が，算数では，「データの活用」の領域が，広島県平均を下回っています。

【平均正答率】

国語	全体	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言葉の特徴や使い方に関する事項
佐方小	６８	８０．７	６０．８	５２．２	７２．７
広島県	６６	７９．１	６４．０	４８．４	６９．６
全国	６４．７	７７．８	６０．７	４７．２	６８．３

算数	全体	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
佐方小	７４	６６．６	６２．７	７７．１	８４．７	７５．７
広島県	７０	６３．６	５７．２	７５．１	７６．２	７６．２
全国	７０．２	６３．１	５７．９	７４．８	７５．９	７６．０

（２）評価の観点から

評価の観点である「知識・技能」「思考・判断・表現」別に見ると，国語・算数とも平均正答率が県平均・全国平均を上回っています。

【平均正答率】

国語	知識・技能	思考・判断・表現
佐方小	７２．７	６５．１
広島県	６９．６	６３．８
全国	６８．３	６２．１

算数	知識・技能	思考・判断・表現
佐方小	７９．３	６７．０
広島県	７３．７	６５．９
全国	７４．１	６５．１

（３）問題形式から

問題形式別に見ると，「選択式」「短答式」は，「国語」「算数」とも平均正答率が県平均・全国平均を上回っていますが，「記述式」は，国語が広島県平均を下回っています。

【平均正答率】

国語	選択式	短答式	記述式
佐方小	７６．８	７３．１	４１．０
広島県	７３．０	７１．９	４２．８
全国	７１．７	７０．６	４０．２

算数	選択式	短答式	記述式
佐方小	７７．９	８２．７	５４．５
広島県	７６．２	７５．４	５４．０
全国	７６．０	７５．８	５３．０

２　教科における学習内容の定着状況の概要

【国　語】

（１）正答率上位２問について

■【設問２二】９５．２％（広島県８７．６％）

＜問題の概要＞

面ファスナーに関する【資料】の文章の中の「より」と同じ使い方として適切なものを選択する。

＜出題の趣旨＞

思考に関わる語句の使い方を理解し 話や文章の中で使うことができるかどうかをみる。

＜学習指導要領における内容＞

〔第５学年及び第６学年〕　知識及び技能

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項　オ

＜評価の観点＞

知識・技能

二　相川さんが読んだ【資料】の［　　］の文の「より」と同じ使い方のものはどれですか。最も適切なものを、あとの１から４までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

そのため、一つ一つ取り外さなければならないホックやボタンより留め外しの簡単な面ファスナーの方が、留め具として適していたのです。

1　音楽会は九時より始まります。

2　雨天により試合は延期になりました。

3　会場へは正門よりお入りください。

4　今年の夏は去年の夏より暑いです。

■【設問３三（１）エ】９１．６％（広島県８３．１％）

＜問題の概要＞

下線部エを，漢字を使って書き直す。（げんいん）

＜出題の趣旨＞

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。

＜学習指導要領における内容＞

〔第５学年及び第６学年〕　知識及び技能

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項　エ

＜評価の観点＞

知識・技能

次の――部エを漢字でていねいに書きましょう。

かたづけわすれたり時間がなくてかたづけられなかったりすることが、エげんいんなのだと思います。

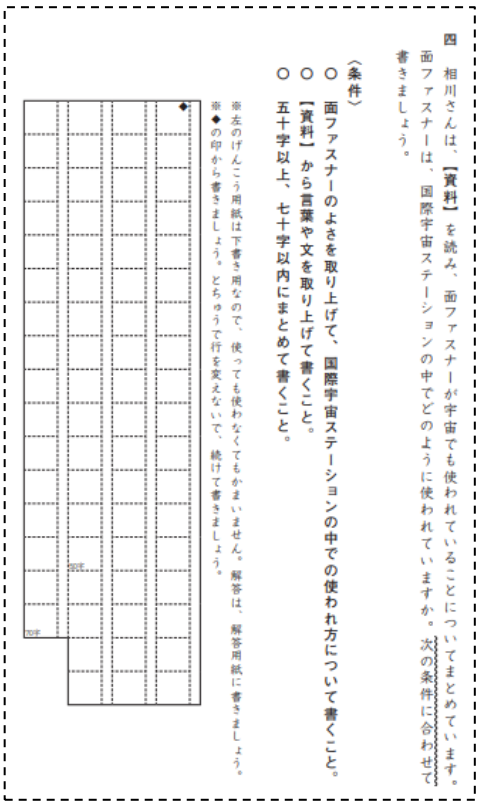
▼　次の漢字については，無解答率が高く，課題がありました。

設問３三（１）ア（ころがっている）正答率 71,1%（県 66.1%）無解答率 13.3%（県 7.3%）

設問３三（１）ウ（つみ重ね）　正答率 54.4%（県 54.4%）無解答率 14.5%（県 12.1%）

（２）正答率下位２問について

■【設問２四】２７．２％（広島県３０．６％）


四　相川さんは、【資料】を読み、面ファスナーが宇宙でも使われていることについてまとめています。面ファスナーは、国際宇宙ステーションの中でどのように使われていますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉
○　面ファスナーのよさを取り上げて、国際宇宙ステーションの中での使われ方について書くこと。
○　【資料】から言葉や文を取り上げて書くこと。
○　五十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。

※左のげんこう用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

＜問題の概要＞

面ファスナーに関する【資料】を読み，面ファスナーが，国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く。

＜出題の趣旨＞

目的を意識して，中心となる語や文を見付けて要約することができるかどうかをみる。

＜学習指導要領における内容＞

〔第３学年及び第４学年〕　思考力，判断力，表現力等
　Ｃ　読むこと　ウ

＜評価の観点＞

思考・判断・表現

＜解答類型＞

（正答の条件）	（正答例）
次の条件を満たして解答している。 ① 以下の内容を取り上げて書いている。 a【資料】で説明されている面ファスナーのよさ b【資料】で説明されている国際宇宙ステーションでの使われ方 ②【資料】から言葉や文を取り上げて書いている。 ③ 50 字以上，70 字以内で書いている。	面ファスナーはしっかりとくっつきかん単にはがせることから，物がうかぶ国際うちゅうステーションの中で，身の回りの全ての物の固定に使われている （70 字）

類型	正誤	解答の内容	解答率
1	◎正答	条件①a，b の両方と，条件②，③を満たしているもの	27.7
2	誤答	条件①a，b の両方と，条件②は満たしているが，条件③は満たしていないもの	0.0
3	誤答	条件①a，b の両方は満たしているが，条件②は満たしていないもの	0.0
4	誤答	条件①a は満たしているが，条件①b は満たしていないもの	8.4
5	誤答	条件①b は満たしているが，条件①a は満たしていないもの	48.2
6	誤答	条件②は満たしているが，条件①a，b は満たしていないもの	9.6
7	誤答	上記以外の解答	0.0
0	無回答		6.0

◆【類型５】は，相川さんが，面ファスナーが宇宙でも使われていることについて，端的にまとめようとしていることを捉えることはできていると考えられますが，国際宇宙ステーションの中での使われ方が書かれている部分を中心に読み，必要な情報である「面ファスナーのよさ」を見付けて要約することができていないと考えられます。

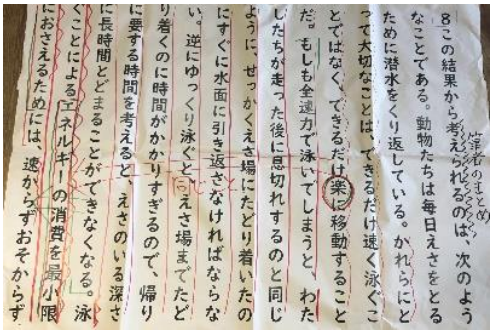
重点課題と今後の取組

▼　文章の中から必要な情報を選び，目的や意図に応じて自分の考えをまとめ，条件に合わせて記述することに課題がありました。

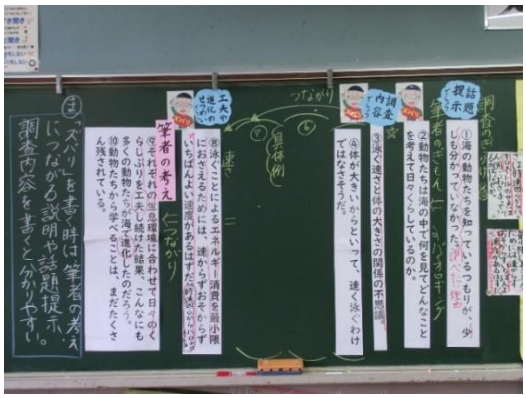
⇒　情報量の多い長文の中からキーワードや根拠となる部分を見付けることを指導し，キーワードを使って決められた制限字数で自分の考えをまとめることなどを行っていきます。

内容の系統性　※網掛けは今回課題となった設問

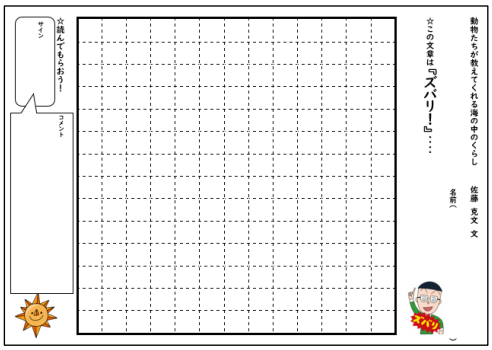
	C　読むこと
１年及び２年	○文章の中の重要な語や文を考えて選び出す。
３年及び４年	○目的を意識して，中心となる語や文を見付けて要約する。
５年及び６年	○目的に応じて，文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり，論の進め方について考えたりする。



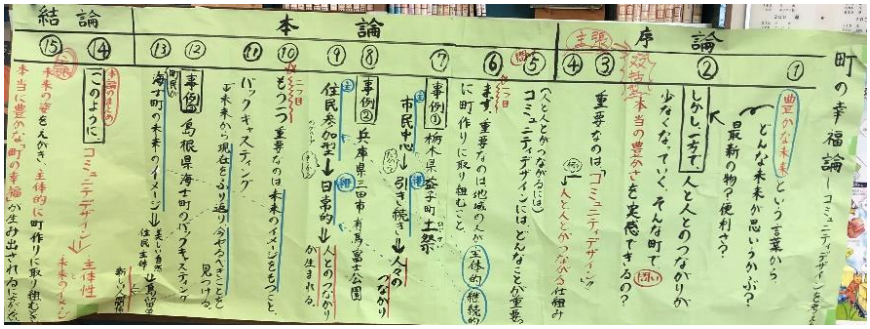
各段落の要点をまとめていく活動を通して，大切なキーワードを見付けたり，文章と文章，段落と段落とのつながりに目を向けさせます。本論の構成が，「問い」と「答え」の関係になっていることにも気付かせます。（５年）



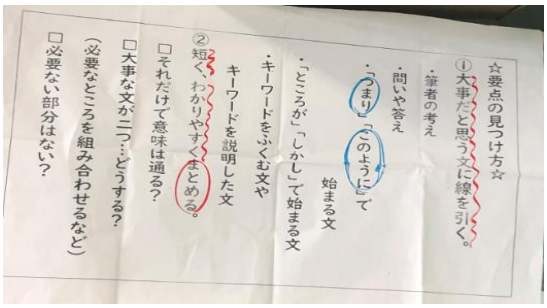
筆者の考えとのつながりを考えることで，必要な情報をしぼっていきます。（５年）



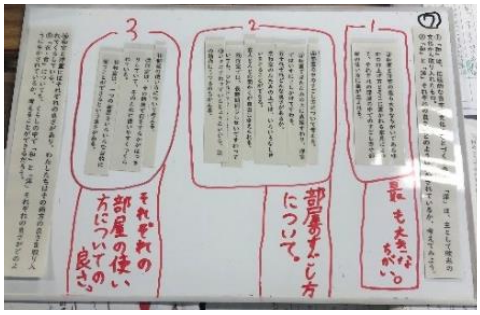
要旨をまとめる際は，筆者の主張を書くだけではなく，筆者の問題意識や調べたこと，その結果等を書くと，読んだことがない人にも伝わりやすいことに気付かせます。
制限字数を示し，その範囲内で自分の考えをまとめさせ，その後他者評価をします。（５年）



本論の事例の内容を捉える際は，キーワードの具体がどのように書かれているのかをおさえていきます。そのことで，段落同士のつながりも見えてきます。（６年）

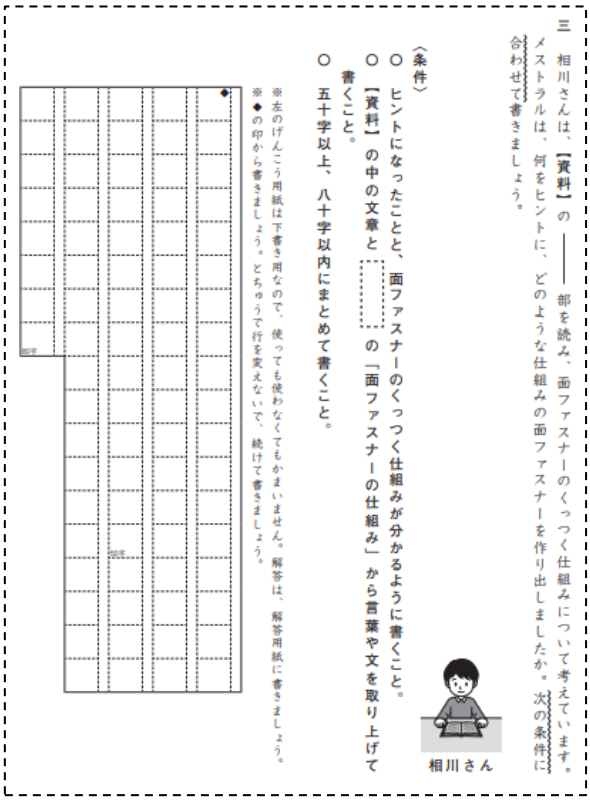


要点の見つけ方を教師が示すことで，児童はキーワードごとに色分けをしたり，つなぎ言葉に印をするなど，一見して必要な情報が分かるよう工夫させます。（４年）



グループごとにホワイトボードを使って，各段落の要点をまとめさせることで，それぞれの段落がもつ役割に気付かせます。（４年）

■【設問２三】３８．６％（広島県３５．９％）


三　相川さんは、【資料】の ―― 部を読み、面ファスナーのくっつく仕組みについて考えています。メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出しましたか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉
○ ヒントになったことと、面ファスナーのくっつく仕組みが分かるように書くこと。
○ 【資料】の中の文章と ［　　］ の「面ファスナーの仕組み」から言葉や文を取り上げて書くこと。
○ 五十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。

※左のげんこう用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。どちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

相川さん

＜問題の概要＞

面ファスナーに関する【資料】を読み，メストラルは，何をヒントに，どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く。

＜出題の趣旨＞

目的に応じ，文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。

＜学習指導要領における内容＞

〔第５学年及び第６学年〕
思考力，判断力，表現力等　Ｃ　読むこと　ウ

＜評価の観点＞

思考・判断・表現

＜解答類型＞

（正答の条件）	（正答例）
次の条件を満たして解答している。 ① 以下の内容を取り上げて書いている。 a ヒントになったこと b 面ファスナーのくっつく仕組み ②【資料】の中の文章と「面ファスナーの仕組み」から言葉や文を取り上げて書いている。 ③ 50 字以上，80 字以内で書いている。	メストラルは，ゴボウの実が犬の毛にからみついていたことをヒントに，かぎ状のフックが輪の形をしたループに引っかかることでくっつく仕組みの面ファスナーを作り出した　(80 字)

類型	正誤	解答の内容	解答率
1	◎正答	条件①a，b の両方と，条件②，③を満たしているもの	38.6
2	誤答	条件①a，b の両方と，条件②は満たしているが，条件③は満たしていないもの	0.0
3	誤答	条件①a，b の両方は満たしているが，条件②は満たしていないもの	0.0
4	誤答	条件①a は満たしているが，条件①b は満たしていないもの	43.4
5	誤答	条件①b は満たしているが，条件①a は満たしていないもの	9.6
6	誤答	条件②は満たしているが，条件①a，b は満たしていないもの	6.0
7	誤答	上記以外の解答	2.4
0	無回答		0.0

◆【類型４】は，相川さんが，面ファスナーのくっつく仕組みについて考えていることを捉えることはできていると考えられますが，【資料】の中の文章と，「面ファスナーの仕組み」とを結び付けて必要な情報を見付けることができていないと考えられます。ヒントになったことが分かるように書いていますが，面ファスナーのくっつく仕組みが分かるように書くことができていません。

重点課題と今後の取組

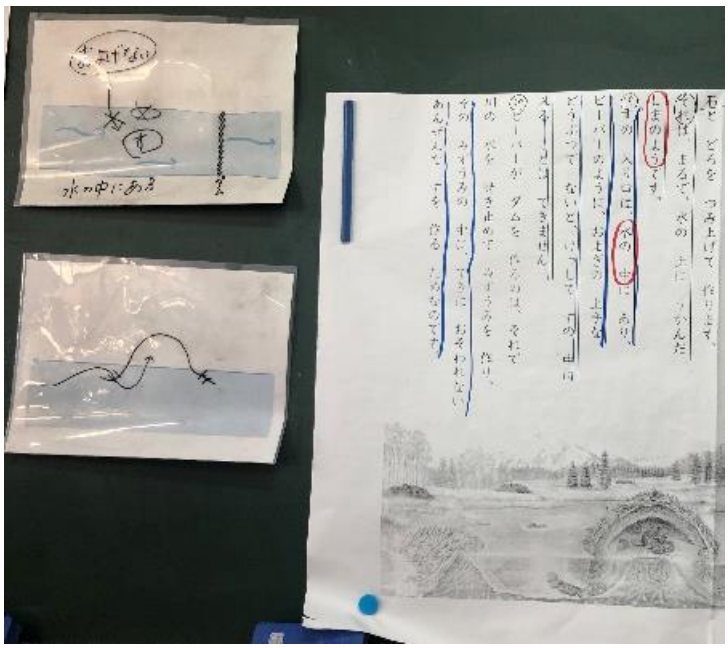
▼　文章の中から目的に応じ，文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付け，条件に合わせて記述することに課題がありました。

⇒　必要な情報を見付けるために，図表などが文章のどの部分と結び付くのかを明らかにした上で，文章と図表などの関係を捉えて読ませ，その際，文章中の言葉と図表などを結び付けるなどして視覚的に理解できるようにすることなどを行っていきます。

内容の系統性

※網掛けは今回課題となった設問

	C　読むこと
１年及び２年	○文章の中の重要な語や文を考えて選び出す。
３年及び４年	○目的を意識して，中心となる語や文を見付けて要約する。
５年及び６年	○目的に応じて，文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり，論の進め方について考えたりする。



図と文章をつなぎながら読み取っていくことで，視覚的に内容の理解を深めていきます。また，教師が図を描いて示す時に，わざと「こうじゃない？」間違えることで，児童が自分の読み取った情報が正しいことに「気付く」よう工夫します。（２年）

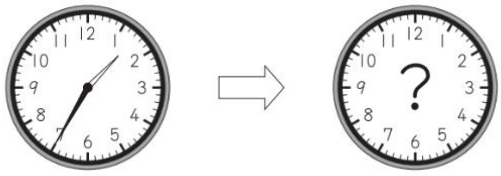
２年生にパラリンピックを紹介するためのリーフレットを作成します。自分で選んだ競技について調べ，まとめていく際に，教材文を通して学習した「要約」の力が発揮されます。また，文字数をどうするかなどを考えることも学びます。（３年）

【算　数】

（１）正答率上位２問について

■【設問１（４）】９５．２％（広島県８９．４％）

(4)　たけるさんたちは，城に着きました。
午後１時 35 分から見学を始めて，50 分後に出発することにしました。
出発する時刻（じこく）は午後何時何分ですか。その時刻を書きましょう。



＜問題の概要＞
午後１時３５分から５０分後の時刻を書く。

＜出題の趣旨＞
条件に合う時刻を求めることができるかどうかをみる。

＜学習指導要領における内容＞
〔第３学年〕　Ｃ　測定（２）ア（イ）

＜評価の観点＞
知識・技能

■【設問１（５）】９４．０％（広島県８５．８％）

(5)　たけるさんたちは，図書館から駅にもどるとき，バスに乗ることにしました。
分速 540 m で走るバスが，2700 m を進むのに何分間かかるかを求める式を書きましょう。
ただし，計算の答えを書く必要はありません。

＜問題の概要＞
分速５４０ｍのバスが２７００ｍを進むのにかかる時間を求める式を書く。

＜出題の趣旨＞
速さと道のりを基に，時間を求める式に表すことができるかどうかをみる。

＜学習指導要領における内容＞
〔第５学年〕　Ｃ　変化と関係（２）ア（ア）

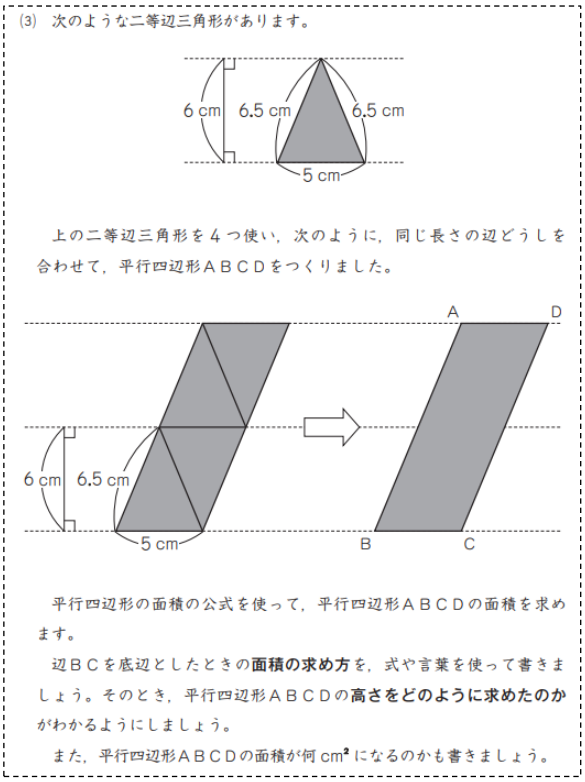
＜評価の観点＞
知識・技能

△　次の設問も９４．０％でしたが，県平均との差が最も大きい設問を上に示しました。
設問１（２）　正答率 94.0%（県 87.3%）
（５００ｍを歩くのに７分間かかることを基に，１０００ｍを歩くのにかかる時間を書く。）

設問３（２）　正答率 94.0%（県 90.9%）
（学年ごとの本の貸し出し冊数について，棒グラフから分かることを選ぶ。）

（２）正答率下位２問について

■【設問２（３）】４５．８％（広島県４６．７％）


(3) 次のような二等辺三角形があります。

上の二等辺三角形を４つ使い，次のように，同じ長さの辺どうしを合わせて，平行四辺形ＡＢＣＤをつくりました。

平行四辺形の面積の公式を使って，平行四辺形ＡＢＣＤの面積を求めます。

辺ＢＣを底辺としたときの**面積の求め方**を，式や言葉を使って書きましょう。そのとき，平行四辺形ＡＢＣＤの**高さをどのように求めたのか**がわかるようにしましょう。

また，平行四辺形ＡＢＣＤの面積が何 cm² になるのかも書きましょう。

＜問題の概要＞

二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く。

＜出題の趣旨＞

複数の図形を組み合わせた平行四辺形について，図形を構成する要素などに着目し，図形の構成の仕方を捉えて，面積の求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。

＜学習指導要領における内容＞

〔第５学年〕　Ｂ　図形（３）ア（ア）

＜評価の観点＞

思考・判断・表現

＜解答類型＞

（正答の条件）	（正答例）
次の①，②の全てを書き，平行四辺形ＡＢＣＤの面積を 60 と書いている。 ① 平行四辺形ＡＢＣＤの高さを求める式や言葉 ② 平行四辺形の面積を求める公式を用いた，平行四辺形ＡＢＣＤの面積を求める式や言葉	・【求め方】 辺ＢＣを底辺としたとき，高さは６×２＝12 で，12cm です。平行四辺形ＡＢＣＤの面積は，５×12＝60 で，60cm² です。 【平行四辺形ＡＢＣＤの面積】 60（cm²）

類型	正誤	求め方	平行四辺形ＡＢＣＤの面積	解答率
1	◎正答	①，②の全てを書いている	60 と解答	45.8
2	誤答		60 以外を解答，または無解答	0.0
3	誤答	①を書いている	60 と解答	2.4
4			60 以外を解答，または無解答	2.4
5	誤答	②を書いている	60 と解答	14.5
6			60 以外を解答，または無解答	1.2
7	誤答	高さを６cm と捉えているもの	60 と解答	0.0
8			30 と解答	0.0
9			類型７，８以外の解答，または無解答	0.0
10	誤答	高さを 6.5cm の二つ分と捉えているもの	60 と解答	0.0
11			65 と解答	16.9
12			類型 10，11 以外の解答，または無解答	3.6
13	誤答	高さを 6.5cm と捉えているもの	60 と解答	0.0
14			32.5 と解答	0.0
15			類型 13，14 以外の解答，または無解答	1.2
16	誤答	平行四辺形ＡＢＣＤの面積を，二等辺三角形の面積の四つ分として求めているもの	60 と解答	1.2
17			120 と解答	0.0
18			類型 16，17 以外の解答，または無解答	0.0
19	誤答	類型１から類型 18 以外の解答，または無解答	60 と解答	1.2
20	誤答	上記以外の解答		8.4
0	無解答			1.2

◆【類型５】は，面積を求めることや，平行四辺形ＡＢＣＤの面積を求める式や言葉の記述できていますが，平行四辺形ＡＢＣＤの高さを求める式や言葉が記述できていません。

◆【類型 11】は，平行四辺形ＡＢＣＤの高さを誤って 6.5cm の二つ分と捉えていると考えられます。また，底辺が５cm であることから，面積について 65 と解答していると考えられます。

重点課題と今後の取組

▼　一部は，複数の図形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方について，筋道を立てて説明することに課題があります。また，もう一部は，三角形や平行四辺形の面積の求め方の理解について課題があります。

⇒　図形の面積について，図形を構成する要素などに着目し，必要な情報を見いだした上で，求め方について筋道を立てて説明することができるよう指導します。

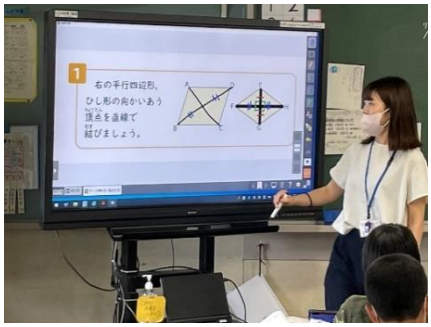
内容の系統性

※網掛けは今回課題となった設問

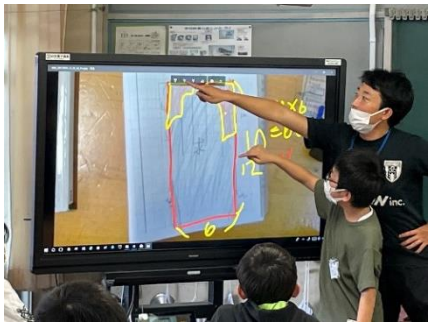
	B　図形	C　測定
１年	○平面図形の観察や構成	○長さ，広さの比較
２年	○三角形・四角形・長方形・正方形・直角三角形	○長さの単位（cm，mm，m）
３年	○正三角形・二等辺三角形	○長さの単位（km）
４年	○垂直，平行 ○台形，平行四辺形，ひし形 ○面積の単位（cm^2，m^2，km^2，a，ha） ○長方形・正方形の面積	
５年	○多角形，正多角形 ○三角形，四角形の合同 ○三角形・四角形・平行四辺形・台形・ひし形の面積	
６年	○拡大・縮小 ○線対称・点対象 ○概形の面積	

身近にあるものの長さに関心をもって，長さを比較したり，身近にあるものの長さを比べる方法を考えます。（１年）

長さの測定に興味をもって，進んでいろいろなものの長さを測定し，単位の必要性や測定の仕方について考えます。(２年)



平行四辺形やひし形の図から，その性質について考えます。（４年）



提示されたものの概形をとらえて，既習の図形と関連付けて，面積を概測します。（６年）

■【設問３（４）】５０．６％（広島県５２．１％）

＜問題の概要＞

帯グラフから，割合の違いが，一番大きい項目を選び，その項目と割合を書く。

＜出題の趣旨＞

帯グラフで表された複数のデータを比較し，示された特徴をもった項目とその割合を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。

＜学習指導要領における内容＞

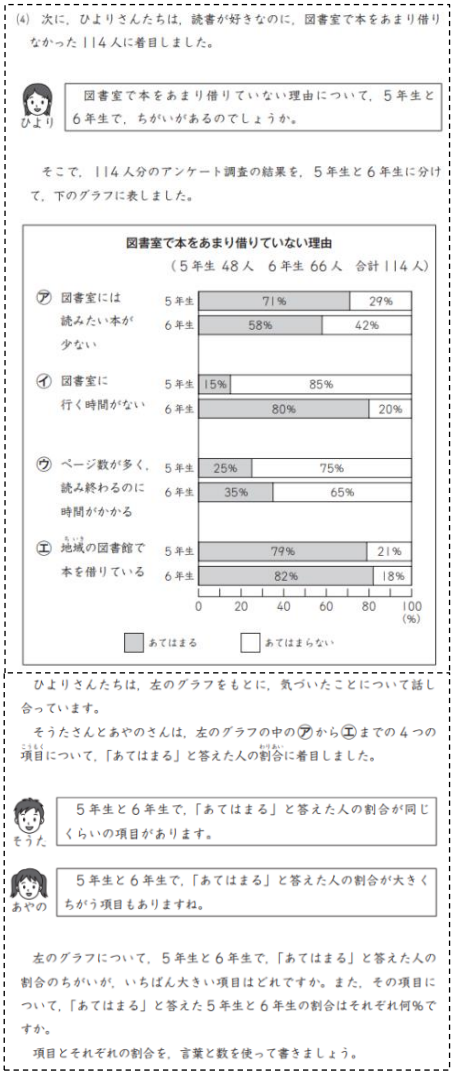
〔第５学年〕

Ｄ データの活用（１）ア（ア）及び（内容の取扱い）（５）

＜評価の観点＞

思考・判断・表現

▼ この設問は，算数の中で最も無解答率が高い設問でした。
無解答率 10.8%（県 8.7%）



(4) 次に，ひよりさんたちは，読書が好きなのに，図書室で本をあまり借りなかった 114 人に着目しました。

ひより：図書室で本をあまり借りていない理由について，５年生と６年生で，ちがいがあるのでしょうか。

そこで，114 人分のアンケート調査の結果を，５年生と６年生に分けて，下のグラフに表しました。

図書室で本をあまり借りていない理由
（５年生 48 人　６年生 66 人　合計 114 人）

		あてはまる	あてはまらない
㋐ 図書室には読みたい本が少ない	５年生	71%	29%
	６年生	58%	42%
㋑ 図書室に行く時間がない	５年生	15%	85%
	６年生	80%	20%
㋒ ページ数が多く，読み終わるのに時間がかかる	５年生	25%	75%
	６年生	35%	65%
㋓ 地域の図書館で本を借りている	５年生	79%	21%
	６年生	82%	18%

0　20　40　60　80　100 (%)

ひよりさんたちは，左のグラフをもとに，気づいたことについて話し合っています。

そうたさんとあやのさんは，左のグラフの中の㋐から㋓までの４つの項目について，「あてはまる」と答えた人の割合に着目しました。

そうた：５年生と６年生で，「あてはまる」と答えた人の割合が同じくらいの項目があります。

あやの：５年生と６年生で，「あてはまる」と答えた人の割合が大きくちがう項目もありますね。

左のグラフについて，５年生と６年生で，「あてはまる」と答えた人の割合のちがいが，いちばん大きい項目はどれですか。また，その項目について，「あてはまる」と答えた５年生と６年生の割合はそれぞれ何％ですか。

項目とそれぞれの割合を，言葉と数を使って書きましょう。

＜解答類型＞

（正答の条件）	（正答例）
次の①，②，③の全てを書いている。 ① 「㋑ 図書室に行く時間がない」を表す言葉や記号 ② 「㋑ 図書室に行く時間がない」について，５年生の「あてはまる」と答えた人の割合を表す数 ③ 「㋑ 図書室に行く時間がない」について，６年生の「あてはまる」と答えた人の割合を表す数	５年生と６年生で，「あてはまる」と答えた人の割合のちがいが，いちばん大きいこう目は，㋑図書室に行く時間がないです。 ５年生が 15%で，６年生が 80%です。

類型	正誤	解答の内容	解答率
1	◎正答	①，②，③の全てを書いているもの	50.6
2	誤答	①，②を書いているもの	0.0
3	誤答	①，③を書いているもの	1.2
4	誤答	①を書いているが，②について 85%と書き，③について 20%と書いているもの	1.2
5	誤答	①を書いているもの	16.9
6	誤答	「㋐ 図書室には読みたい本が少ない」を表す言葉や記号を書いているもの	0.0
7	誤答	「㋒ ページ数が多く，読み終わるのに時間がかかる」を表す言葉や記号を書いているもの	0.0
8	誤答	「㋓ 地域の図書館で本を借りている」を表す言葉や記号を書いているもの	13.3
9	誤答	②，③を書いているもの	0.0
10	誤答	②を書いているもの	0.0
11	誤答	③を書いているもの	0.0
12	誤答	上記以外の解答	6.0
0	無解答		10.8

◆【類型５】は，５年生と６年生で，「あてはまる」と答えた人の割合の違いが，一番大きい項目である「㋑」は記述できていますが，「５年生の割合」と「６年生の割合」を記述できていません。

◆【類型８】は，５年生と６年生で，「あてはまる」と答えた人の割合の違いが，一番大きい項目を正誤の「㋑」ではなく，「㋓」と考えて記述しています。

重点課題と今後の取組

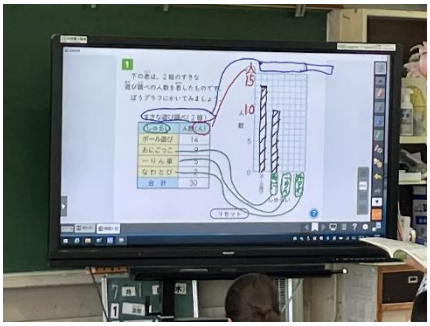
▼　グラフを正確に読み取り，グラフや割合の表している意味を解釈することができていないため，設定した問題に対して，複数のデータを分析し，求め方を説明することに課題がありました。また，算数用語や必要な項目を的確に使って条件に沿って記述することにも課題がありました。

⇒　答えを出すだけでなく，データの特徴や傾向を捉え，グラフや資料を正確に読み取る事，自分の考え方や説明を算数用語やキーワードを使って説明させることを丁寧に指導します。また，算数科だけでなく，他教科等の学習においても統計的な問題解決活動を進めていきます。

内容の系統性

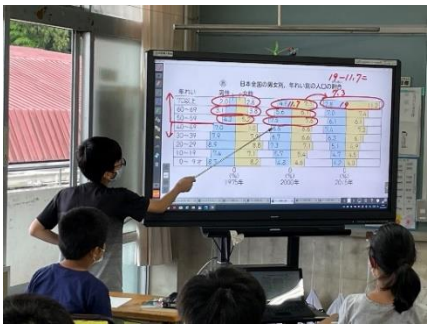
※網掛けは今回課題となった設問

	C　データの活用
１年	○絵や図を用いた数量の表現
２年	○簡単な表やグラフ
３年	○表や棒グラフ
４年	○２次元の表，折れ線グラフ
５年	○円グラフ・帯グラフ ○統計的な問題解決の方法
６年	○代表値・度数分布・ヒストグラム ○統計的な問題解決の方法



資料を分類・整理して，目的に応じて表にまとめたり，棒グラフを理解して，よんだりかいたりします。（３年）

折れ線グラフの特徴をとらえて，変化の様子をよみとったり，表にまとめられた数値などから，折れ線グラフをかいたりします。（４年）



複数のグラフを見て，人口変化の特徴をよみとります。（６年）

総合的な学習の時間の学習において，統計資料を根拠にして，問題解決活動を進めます。（６年）

３　児童質問紙調査の回答状況

（１）肯定的な回答について，県平均との差が大きい設問上位５問

質問事項	佐方小	広島県	差
自分と違う意見について考えるのは楽しい。	89.1	70,2	18.9
５年生までに受けた英語の授業では，英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていた。	89.2	75.3	13.9
国語の授業では，目的に応じて，自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしている。	77.1	63.5	13.6
道徳の授業では，自分の考えを深めたり，学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。	94.0	81.8	12.2
学級の友達との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができる。	91.5	80.1	11.4

△　低学年から，自分と友達の考えを比べ，考えを広げ，深めるために，互いの考えを聞き合い伝え合う場を意図的に設定している成果が表れています。引き続き，グループ活動やペア活動など，児童が主体的に活動する言語活動を充実します。

（２）肯定的な回答について，県平均との差が－５ポイント以上の設問

質問事項	佐方小	広島県	差
今住んでいる地域の行事に参加している。	48.1	59.8	-11.7
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について，家の人と約束したことを守っている。	63.8	70.6	-6.8

▼　新型コロナウイルス感染症のため行事の中止が多く，地域との関係が希薄になっていると考えられます。

⇒　総合的な学習の時間において，地域の課題を見いだし，その解決に向けて，主体的・協働的な学習を充実させます。

▼　携帯電話・スマートフォンやコンピュータに依存して，家庭学習が捗らなくなることが懸念されます。

⇒　生活アンケート等で実態を把握するとともに，情報モラル教育を充実させます。